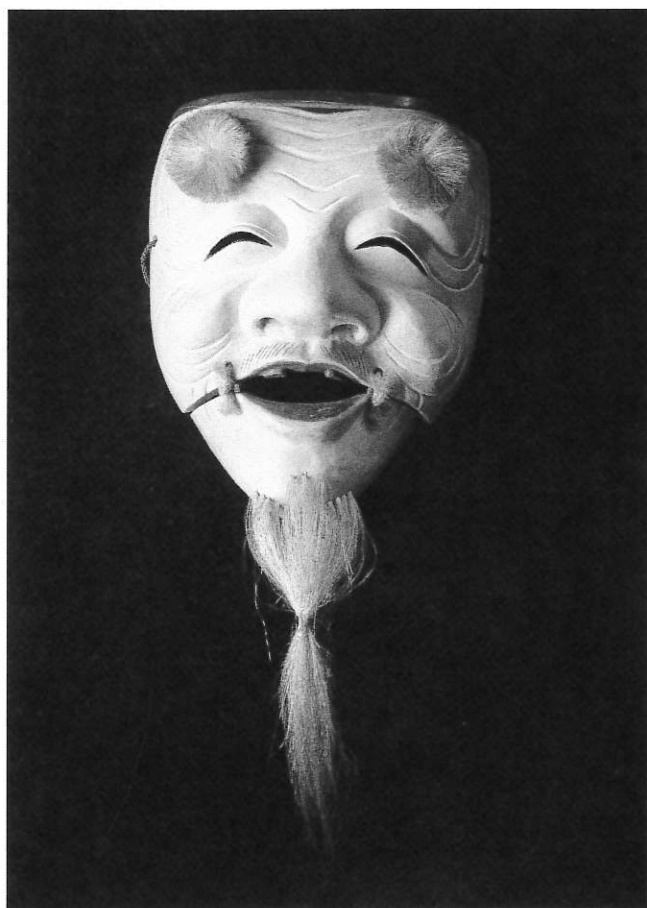
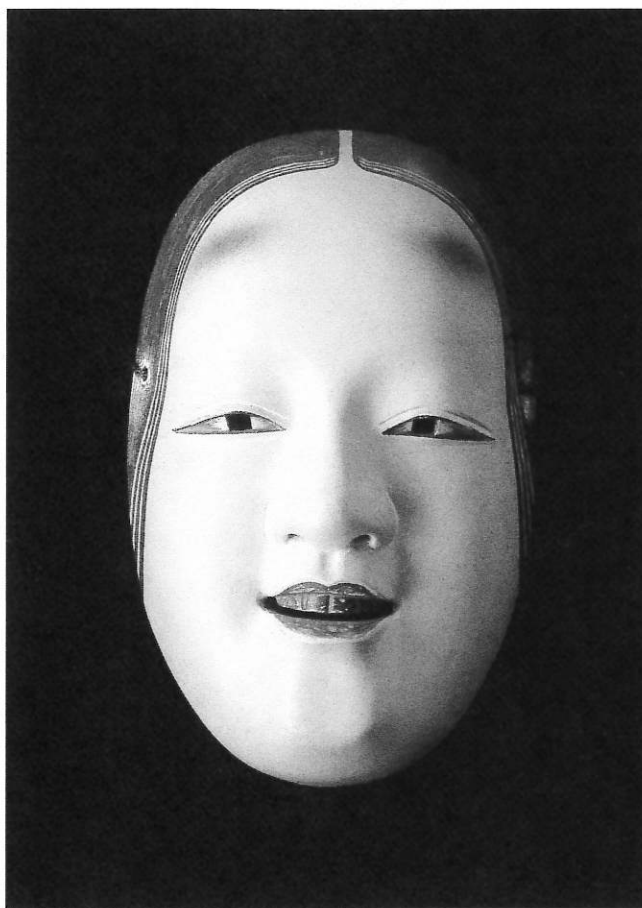


# しいのき



翁



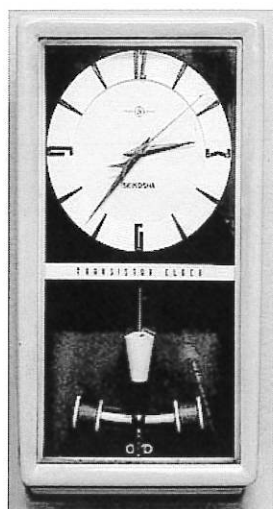
小面

## 能の面

名誉館長 三 隅 治 雄

能は室町時代に大成した情趣と香気に満ちた歌舞劇です。世界遺産にも登録されたその高い芸術性は、<sup>おもて</sup>面とよばれる能面の美にも顕現しています。中でも、能の根源の曲と尊ばれる「翁」の面は、国土・万民に幸福と長寿を授ける神をあらわし、満面の笑みと深い皺は、天地宇宙の平和と生命の長久を象徴します。上演に際して、<sup>あげまく</sup>揚幕裏の鏡の間で、祭壇に翁面を祀って拝する慣わしは、世の寿福を祈るのが能だという志の表現です。そして、現行約250ある演目は、生きとし生けるものの喜怒哀楽を描き、その心の光と影を面に映し出します。<sup>こおもて</sup>小面と呼ばれる若い女性の面は、少し上を向くと喜びが、下を向くと悲しみの表情が滲み出て、一見の無表情が、逆に揺れ動く心の機微を深々と<sup>あら</sup>顕わすのです。

## 企画展案内



企画展「ドキュメントなかの

～今、よみがえる昭和の生活と記憶～

会期：2007年10月13日（土）～11月25日（日）

休館日 / 毎週月曜日・第3日曜日

会場：当館 2F 企画展示室

時間：午前9時～午後5時（入館は午後4時半まで）

—主な展示資料—

モーニング・橋梁検査用ハンマー・トランジスタ時計

ふん尿汲取引替票・灯火管制電球・陶製湯たんぽ

# ドキュメントなかの

今、よみがえる昭和の生活と記憶

中野の人々にとって昭和はどのような時代だったのでしょうか。

中野で昭和を生き抜いたある家庭の資料から、中野のくらしの記憶をのぞいてみたいと思います。

### 企画展関連事業

・講演会 「旧家が残す中野の歴史文化」

講師 三隅治雄氏（芸能学会会長）

11月11日（日） 午後2時～午後4時

会場：当館1F 研修室

定員：40名（応募者多数の場合は抽選）

無料



三隅治雄氏

申込期間：10月10日（水）～10月31日（水）まで。10月31日必着。

申込方法：往復はがき往信用裏面に「①講演会②住所③氏名（ふりがな）④電話番号、  
返信用表面に郵便番号・住所・氏名を記入し、当館まで。（返信用裏面には  
何も書かないでください。）またははがき持参で当館にて申込みできます。  
電子申請も可。ご不明な点は当館までお問い合わせください。

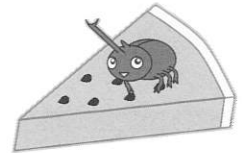
〒165-0022 中野区江古田 4-3-4 TEL：03-3319-9221

# れきみん夏休みイベント

～こんなことをやりました～



## 夏期子ども向け事業報告



歴史民俗資料館では、小中学校の夏休みにあわせて毎年さまざまな体験イベントを行っております。何千年も前の技術からつい数十年前の日常生活まで、知識はあっても現実味を欠く事柄は多々あり、そうしたことを自分で実際にやってみると大きな発見があります。昔の人の暮らしぶりを追体験し、驚くべき工夫やたいへんな苦労の実感を得ていただくのも昨今の博物館・資料館の重要な役割となっています。

なお今回は紙幅の都合で載せられませんでした。ここでご紹介するイベントの他に次のような催しも行いました。

洗濯板で洗濯（7月25日）

障子張り（8月1日）

農具体験（8月8日・22日）

針と糸で作ろう（8月23日）

また7月24日・31日・8月18日の学習相談日以外にも随時質問・相談をお受けしました。

## 火おこし

7月21日・8月11日・25日

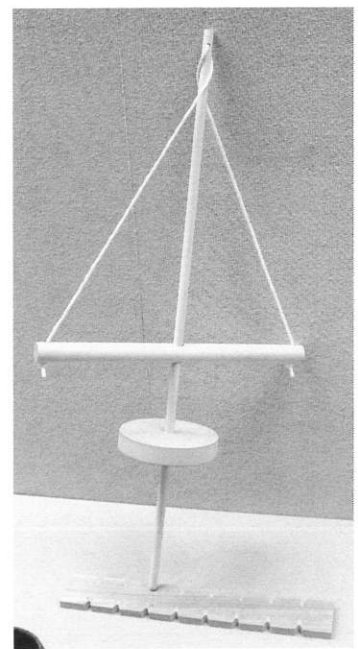
とても原始的な方法で着火に挑みます。最も単純なのは棒をひたすらこすりあわせるやり方ですが、さすがにそれではなかなか火が付きませんの



うまくつくかな？

で道具を使って発火させます。とはいえ摩擦熱だけで火種を作るのは容易ではなく、ある程度温度が上がって特有のコゲ臭い煙がただよいだと、いよいよ火がつくかと期待が高まるのですが、結局うまくいく場合といかない場合があります。ちょっとしたコツと持久力、そして工夫が必要な技術であり、現代がいかに便利な物に取り囲まれているのかを、だるくなった腕と煙でショボショボする目で思い知らされます。

使った道具。舞錐式まいきり火起し機といい、現在でも神社で用いる火はこれで起すことがあります。ただし原始時代はこれとは別の方法が主流。



# 押絵作り

7月26日・8月24日

押絵とは江戸時代に流行したもので、現在でも身近なものとして羽子板があり、伝統が受け継がれています。

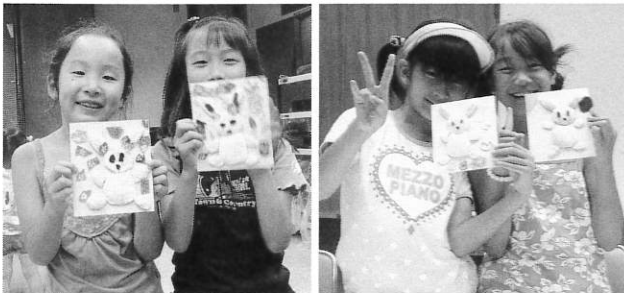


パーツ作りでみんな真剣

資料館では、伝統的細工を身近なものとして子ども向けにアレンジして押絵作りを行いました。

作り方は、まず厚紙に用意した型をのせて鉛筆でなぞった後、厚紙を型状にはさみで切ることで絵のパーツである型紙ができます。次に型状に綿と布を切りますが、型紙と比べて綿は小さめに、布は大きめに切ります。そして、型紙に綿をつけてから、全体をくるむように布を貼りますと柔らかな盛り上がりのある絵のパーツができあがります。

最後にパーツを組み合わせながら、厚紙に貼って押絵が完成します。また、完成した押絵に他の柄の布や紐を付けて模様や背景をつけることにより、作る人の個性がより表れます。

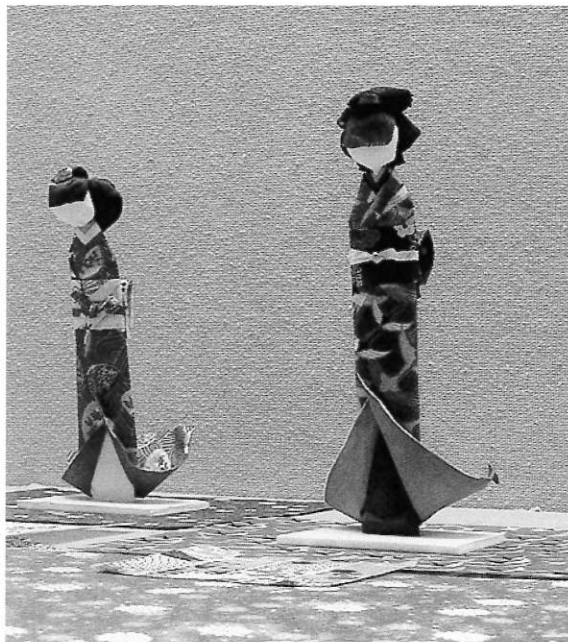


かわいい押絵ができました



# 姉様人形作り

7月27日



こうした人形を作ります

縮緬紙で日本髪の頭部・顔を作り、和紙や千代紙を着物にした人形です。しおりとして使える平らなもの、まさに「人形」といったものがあり、ここではふくらみのあるものを作ります。日本髪の一番難しい部分だけあらかじめ用意しておき、当日は保護者の方とお子さんの共同作業で残りの頭部・顔を作り、着物を着せ、お太鼓帯を締め、最後に頭に櫛をさし綺麗な姉様人形の完成です。様々な色と模様の紙をどこにどう使うかという製作者の美的センスができあがり大きく左右します。



特に手のかかる部分は力を合わせて



# 土器作り

7月28日



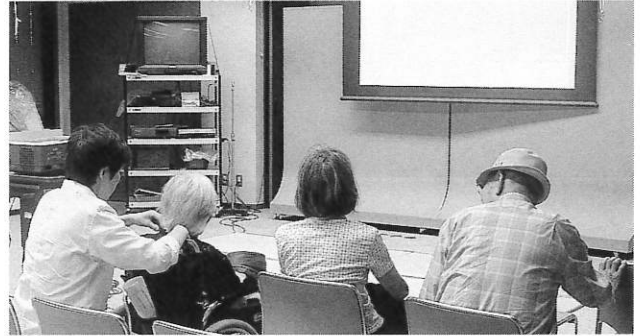
粘土をこねて素焼の陶器を作ります。当日は形成までで、乾燥させてから焼きあげますが、身近な油粘土とは異なる陶芸用粘土に苦心する場面も見受けられました。特に、手のひらの熱で粘土が乾燥していきますのであまりゆっくりしてられない一方、水をつけすぎるとユルくなって形成できなくなる性質に途惑っていたようです。作成技法自体は縄文土器と同じなのですが、自由な発想から多様な作品となります。特に模様づけでは、こちらが思ってもいかなかった道具で思いがけないデザインを生み出し、年若い芸術家たちに驚かされました。



もようさまざま

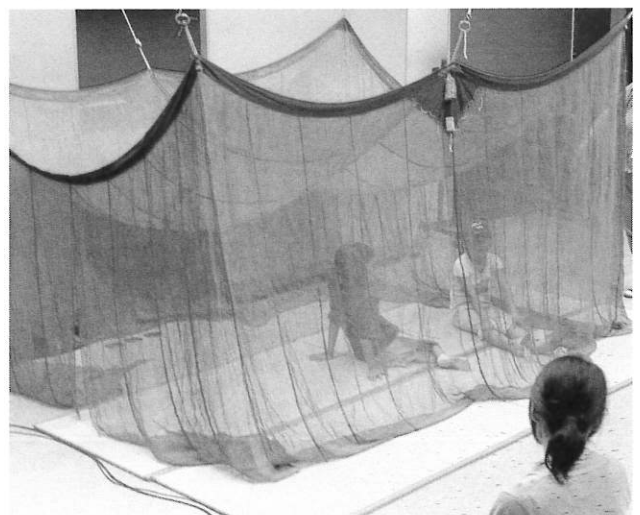
# 映像で見る 昔の暮らし

8月3日・9日



幅広い年代のご参加をいただきました

実際に体験するイベントだけでなく、記録映像の上映会も行いました。開始前に「昔の暮らし」の雰囲気づくりのため、会場に畳を敷き蚊帳を用意します。1本目の上映は提供いただいた記録映画で、学校などにおける1958年の子どもの様子です。髪型や食器など、ちょっとしたところに時代を感じます。次いで蚊帳つりの実演を試みたのですが、会場のお子さんには何をするためのものか想像もつかなかったようでした。最後に60年代後半、中野区が作成した映像を見ます。区役所がまだ骨組だけの建築途中だったり、隣のサンプラザは影も形もなかったりと、ここ半世紀での変化は驚くべきものがありました。



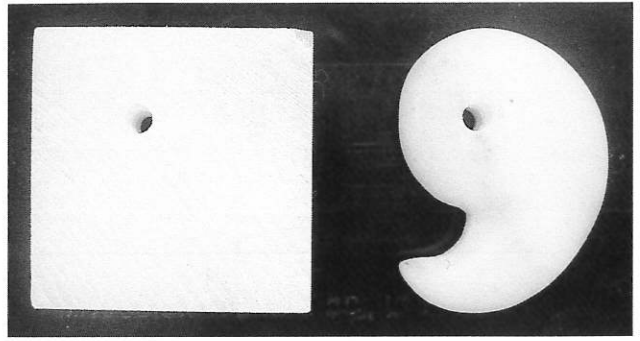
初めての蚊帳体験

# まが たま 勾玉作り

8月4日

古代の装身具・勾玉を作ります。装飾品にした動物の牙を模したともいわれる独特の品で、発掘によって出土するものはヒスイをはじめとする非常に硬い石を材料とすることが多いのですが、その通りに作るには高い加工技術かっせきと長い作業時間が必要なため、今回は滑石というとても軟らかい石を使います。

ひもを通す穴をあらかじめ空けておいた石に下絵を描き、次に下絵にそってヤスリをかけ、表面をきれいに磨いて穴にひもを通せば完成。削った粉で真っ白になりながら延々とヤスリがけするのは根気のいる作業ですが、みんながんばりました。



左が石の原形 右は試作品

できた勾玉を首から下げて

# 昔のおもちや 作りと遊び

8月10日

簡単な材料でおもちやを自作します。今回は滑車しょうのうを使ったロープウェイと糸電話および樟脳船。滑車とそれを固定する天井部分および設計図は先



に用意しておき、当日はまずロープウェイの床と壁部分を作って取付けました。そのノリが乾くまでの間に糸電話を作ります。筒の端に紙を貼って糸を付けたのですが、構造が単純であるがゆえに、ちょっとしたミスで音が伝わらなくなってしまいます。次いで樟脳船。プラスチック板を切っただけのもので、推進源はハミガキでも代用できますが名前の通り樟脳を使いました。ノリが乾いた頃を見計らい、作ったおもちゃでさっそく遊んでみます。自作の遊具に縁遠い世代にとって、新鮮な体験であったようです。



# 文化財めぐり

## 上高田の寺町

中野区内を歩いてみると、たくさんの史跡や文化財に出会えます。資料館でも区内の史跡めぐり9コースを設定し道しるべをたてたり、56箇所の文化財の説明をした文化財表示板をたてたりしています。今回は、上高田にある、寺町について紹介します。

明治後期から大正時代にかけて、東京市内から中野区内へたくさんの寺院が移ってきました。四谷方面からは、博覧会開催予定地や明治神宮造営の敷地にあたるため、浅草方面からは、区画整理のためなどの理由でした。移転先は特に上高田1丁目、上高田4丁目付近に集中し「上高田の寺町」とよばれるほどになりました。

上高田4丁目には由緒のある6つの寺院があります。

万昌院功運寺は、久宝山万昌院と竜谷山功運寺が合併したもので、功運寺開基の永井家の宝篋印塔や吉良上野介義央の墓などがあります。

永禄5（1562）年創建の宝泉寺は、明治41年に牛込横寺町から移ってきました。奥州中村相馬家の立派な大名家の五輪塔や板倉内善正重昌の墓があります。

大正4年、明治神宮外苑造営の際、現在地に移転してきた境妙寺は、塙保己一の菩提寺でもあります。

願正寺は、幕末に日米修好通商条約の批准書交換のため渡米した、新見豊前守正興の墓があります。昭和35年、マッカーサー駐日大使が訪れ、日米修好百年記念の植樹をしています。

神足寺は、慶長12（1607）年伊豆の武将伊東氏開祖の寺院で、明治43年に本堂、庫裡をそのまま現在地に移転してきました。（その後、昭和33年本堂は改築されています。）

建長2（1250）年開山の金剛寺は、源実朝ゆかりの寺院です。

さらに、上高田1丁目・中野6丁目の早稲田通り沿いには、10箇寺あります。

# 大地に眠る歴史

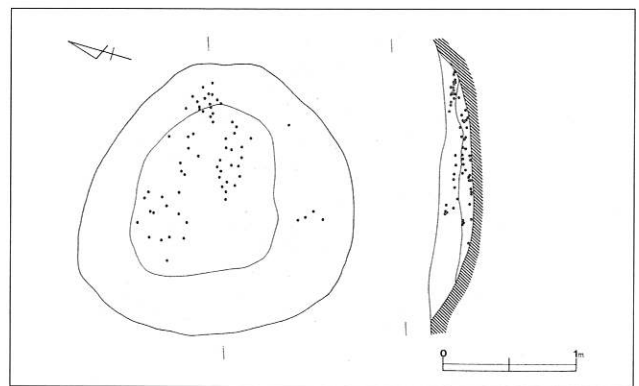
## 中野区の遺跡（3）

いまから約12,000年前に長い最終氷河期が終わり、現在と同じような気候になります。温暖化により鬱蒼とした針葉樹林は姿を消して、クリやクルミや椎の木など広葉・落葉樹林になります。

これらの木の実には人類にとって重要な食糧資源となり、それまで動物や魚を追うしかなかった旧石器時代に比べて、食卓は飛躍的に豊かになりました。土器が発明されたのは、堅い木の実を煮て柔らかくするためといわれています。

土器の登場とともに縄文時代が始まるのです。中野区では北江古田遺跡（北江古田公園）で、クルミをたくさん入れた穴がいくつも発見されています。

クルミはいまや高級食材ですが、縄文時代にはクリとともに主食でした。クルミが食べられるのは種の部分です。桃や梅と同じ種類の植物です。まわりの果肉は繊維質でなかなか取り除くことができません。そこで水辺に穴をほって果肉ごとクルミを入れて、果肉を腐らせて種を取り出すという工夫をしたのです。



クルミの入った土坑：黒点がクルミの位置  
（北江古田遺跡34号土坑）

また、当時の食糧を示すものとしては、新井小学校脇の妙正寺川で出土した、ノビルの入った縄文土器があります。ノビルとはユリ科のネギに似た香りのする植物で、その球根のところが食用になります。現代でも山菜として珍重され味噌をつけて食べるとそれは美味しいものです。

縄文時代の実物のクルミとノビルの入った土器は常設展示室でご覧になれます。（つづく）



# 事業報告

## 各種事業経過

2007年4月～9月

事業名	内 容	期 間
企画展	「写真のなかの むかし風景」	4/20～6/24
所蔵名品展	「新指定文化財」 「多彩な絵画の世界」	5/12～6/7 6/1～6/30
年中行事展	「端午の節句」 「七夕」	4/7～5/6 6/23～7/8
夏休み学習展	「しらべてみよう！いま・むかし」	7/21～9/2
夏休み事業	「火おこし」 7/21・8/11・25 「洗濯板で洗濯」 7/25 「姉様人形作り」 7/27 「障子張り」 8/1 「勾玉作り」 8/4 「昔のおもちゃ作りと遊び」 8/10 「学習相談室」 7/24・31・8/18 「押絵作り」 7/26・8/24 「土器作り」 7/28 「映像でみる昔の暮らし」 8/3・9 「農具体験」 8/8・22 「針と糸で作ろう」 8/23	
古文書講座	講師：笠原綾氏（日本放送協会学園専任講師）	9/15・22・29
公開事業	春季「山崎家茶室書院公開」	4/28～5/6
埋蔵文化財 対 応	江原町二丁目1番民有地試掘調査（国庫補助金対象事業） 弥生町六丁目10番民有地試掘調査（国庫補助金対象事業） 江古田二丁目13番民有地立会調査 沼袋一丁目29番民有地立会調査 白鷺二丁目40番民有地試掘調査（国庫補助金対象事業） 弥生町一丁目30番民有地立会調査 江古田四丁目9番民有地立会調査 江古田二丁目12番民有地試掘調査 本町五丁目34番民有地立会調査 弥生町五丁目11番民有地立会調査 中野一丁目33番民有地立会調査 上高田四丁目5番民有地立会調査 弥生町五丁目11番民有地試掘調査（国庫補助金対象事業） 中野一丁目31番区有地試掘調査（谷戸運動公園内） 弥生町五丁目2番民有地立会調査 弥生町六丁目2番民有地試掘調査（都住宅供給公社用地） 弥生町六丁目2番民有地試掘調査（都住宅供給公社用地） 弥生町五丁目25番民有地立会調査 弥生町六丁目2番民有地試掘調査（都住宅供給公社用地） 江古田一丁目36番民有地立会調査	4/11 4/17 4/27 5/2 5/24 5/30 6/1・4 6/6 6/19 6/19 6/26 7/9 7/13 7/24～25 7/30 8/6 8/16～17 9/4 9/5 9/10
そ の 他	展示「今も昔も交通安全」 昭和なつメロ鑑賞会 講演会 講師：八兄雄三郎氏 小学校3・4・6学年総合学習見学18校	4/7～5/10 5/11・9/14 4月～9月

## 寄贈資料一覧

2006年6月～2007年3月

敬称略受入順

資 料 名	点数	氏 名
雛人形	一式	武田みはる
富士山お山開き手形ほか	一括	中野十七夜講社
万華鏡・写真	6点	佐藤 慎
足踏みミシン	1	渡辺 静
着せ替え人形ほか	一括	鈴木政子
早船家文書・掛け軸	一括	早船二郎
雛人形・火桶ほか	一括	村澤敏子
生活資料	一括	清水治長・郁子
軍服（外套）ほか	一括	鈴木駿之介
ポスター・台本ほか	一括	大久保伸代
雛人形ほか	一括	荒牧裕子
百人一首	1	百海 勇

◎貴重な資料をありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

## 入館状況

2007年3月～2007年8月（延べ153日間）（人）

一 般	団 体	学校教育	合 計
15,746	107	1,377	17,230

発行年月日 2007年10月1日

編集・発行  山崎記念  
中野区立歴史民俗資料館

〒165-0022 東京都中野区江古田4-3-4

☎ 03 (3319) 9221 FAX 03 (3319) 9119